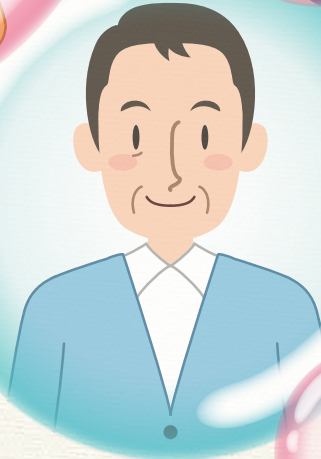


がん化学療法（抗がん薬の治療）による

こう ちゅう きゅう げん しょう しょう

好中球減少症

その実態と対策



はじめに

抗がん薬のめざましい進歩により、がん患者さんの治療の選択肢が充実するとともに、治療効果は格段に向上しています。また、医療スタッフによるチーム医療の浸透により、どの医療機関でも最善の治療が受けられる環境が整い、多くの患者さんが外来で治療を行えるようになりました。

しかし、抗がん薬は効果が高い一方で、なかには副作用が強いものもあります。副作用の出方や程度は患者さんによって異なる場合も多く、患者さんご自身によるセルフケアがとても重要です。

なかでも、抗がん薬投与期間に多くみられる「好中球減少症」は、十分な管理が必要な副作用です。白血球の一種である好中球は、体の中で病原体と戦っています。抗がん薬の投与により好中球が減少し、好中球減少症になると、さまざまな感染症にかかりやすくなってしまうため、うまく副作用に対処できない場合は、抗がん薬の減量や中止、あるいは治療スケジュールを変更しなければならなくなり、期待される治療効果が得られなくなる可能性もあります。そのため、好中球減少症を適切に予防・管理することが大切です。

この冊子は好中球減少症を十分にご理解いただき、手洗いや口腔ケアなど、患者さんご自身によるセルフケアの実践に役立てていただくことを目的に編集しました。

これから抗がん薬治療を受ける患者さんにご一読いただき、積極的な治療を行う助けとなれば幸いです。

国際医療福祉大学三田病院 悪性リンパ腫・血液腫瘍センター長

畠 清彦

監修

畠 清彦先生

国際医療福祉大学三田病院 悪性リンパ腫・血液腫瘍センター長

濱口 恵子先生

医療法人社団 誠馨会 新東京病院 看護部 副院長 兼 看護部長

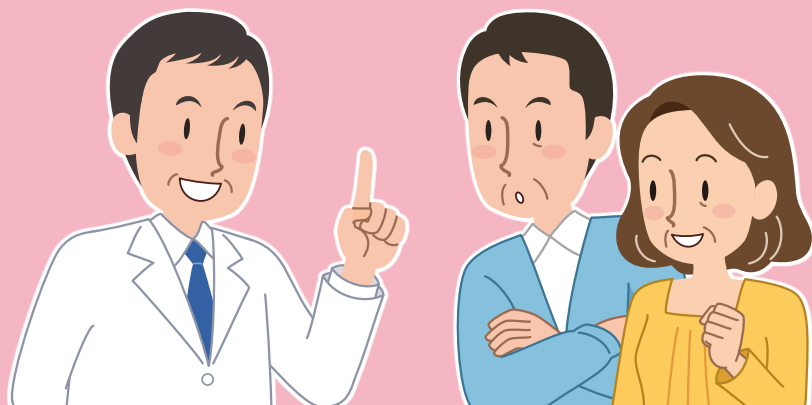
目次

好中球減少症について知ろう	03
1. 好中球ってなあに？	04
2. 好中球減少症ってなあに？	05
3. 好中球減少症になるとどうなるの？	05
4. なぜ、抗がん薬治療で好中球が減るの？	06
5. 好中球の減少はいつごろ起こるの？	07
コラム 抗がん薬治療と好中球減少症	07
6. 発熱性好中球減少症ってなあに？	08
感染症について知ろう	09
1. 感染症になるとどんな症状が出るの？	10
2. 感染症を予防するにはどうすればいいの？	11
① 栄養と休息 ～心の健康を守る～	
② 口腔ケアと手洗い ～病原体を避ける～	
③ 体温測定 ～毎日の体調を知る～	
3. 好中球が極端に減っていると診断を受けた場合には、どうすればいいの？	19
4. 感染症になったらどうすればいいの？	21
コラム 発熱したら「抗菌薬」？「解熱鎮痛剤」？	21
5. 感染症になるとがん治療はどうなるの？	23
わたしの治療日誌	25

好中球減少症 について知ろう

「好中球減少症」は多くの抗がん薬にみられる副作用です。病原体と戦う働きを持つ好中球が減少するため、さまざまな感染症にかかりやすくなります。感染症にかかると、状況によっては、抗がん薬の減量、治療スケジュールの延期などが必要となります。予定通りに抗がん薬治療を続け、期待される治療効果を得るためにも、好中球減少症やその対策について理解し、感染予防に役立てましょう。

感染症や感染症予防のセルフケアについては、9ページ以降で解説しています。



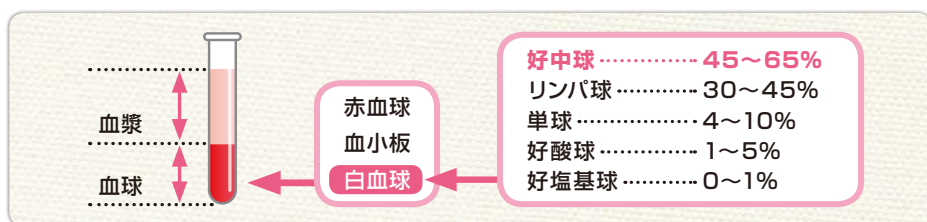
1.好中球ってなあに？

好中球は白血球の仲間です

血液は「血漿(けっしょう)」という液体部分と、「血球」という細胞に分けられます。

血球には赤血球・血小板・白血球などがあります。これらの数は、一般的な血液検査でわかります。

白血球は健康な成人で血液1 μ L(マイクロリットル;1 mm^3 と同じ)あたり4,000~9,000個あります。白血球はさらに好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球に分類されます。健康な成人では、好中球は白血球の約半分を占め、血液1 μ Lあたり2,500~6,000個あります。



好中球は病原体と戦い、私たちの体を守っています

好中球は、体の外から侵入してくるウイルスや細菌などと戦う細胞です。病原体を見つけた好中球は、病原体を取り込みます(貪食作用)。病原体を食べた好中球自身は病原体を消化してから死に、他の細胞から食べられたり、膿(うみ)になって体の外に出されます。

私たちの体は、病原体が侵入してくると、いつもよりも好中球を増やして病原体と戦い、外敵からの攻撃に対して防御する役割を果たします。



2.好中球減少症ってなあに？

好中球が少なくなる状態のことです

なんらかの理由で、血液中の好中球が1 μ Lあたり2,000個より少なくなってしまうことがあります。この状態を「好中球減少症」と呼びます。一般的には、抗がん薬の治療後に起こりやすいと言われています。

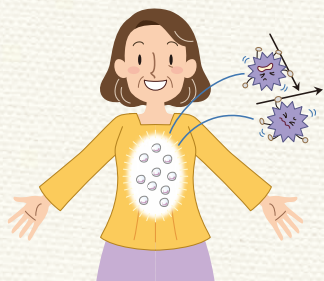
3.好中球減少症になるとどうなるの？

感染症にかかりやすくなります

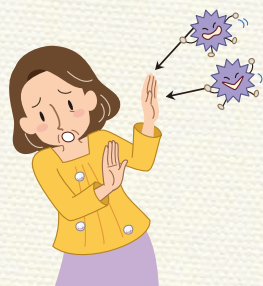
病原体から体を守る好中球が少なくなると（好中球減少症）、病原体からの攻撃に対応できず、肺炎などの感染症にかかりやすくなります。そのため、好中球減少症になったら、病原体が体の中に侵入しないような注意や対策が必要になります。

特に、好中球が血液1 μ Lあたり500個より少なくなってしまうと、重症な感染症を起こす危険もあるため、厳重な注意が必要となります。

健康なとき
(好中球が十分にあるとき)



好中球減少症のとき
(好中球が少ないとき)



好中球の数が500個/ μ L未満になってしまったら

感染症に対する厳重な注意が必要

好中球の数が500～999個/ μ Lでは

感染症に対する十分な注意が必要

好中球の数が1,000～1,499個/ μ Lでは

感染症に対する注意が必要

4.なぜ、抗がん薬治療で好中球が減るの？

抗がん薬は好中球を作る骨髄の働きを止めてしまうことがあります

抗がん薬はがん細胞が活発に増殖するのを止めるように働くお薬です。しかし、多くの抗がん薬は、同時に正常な細胞が増殖するのをも止めてしまうため、さまざまな影響がみられます。

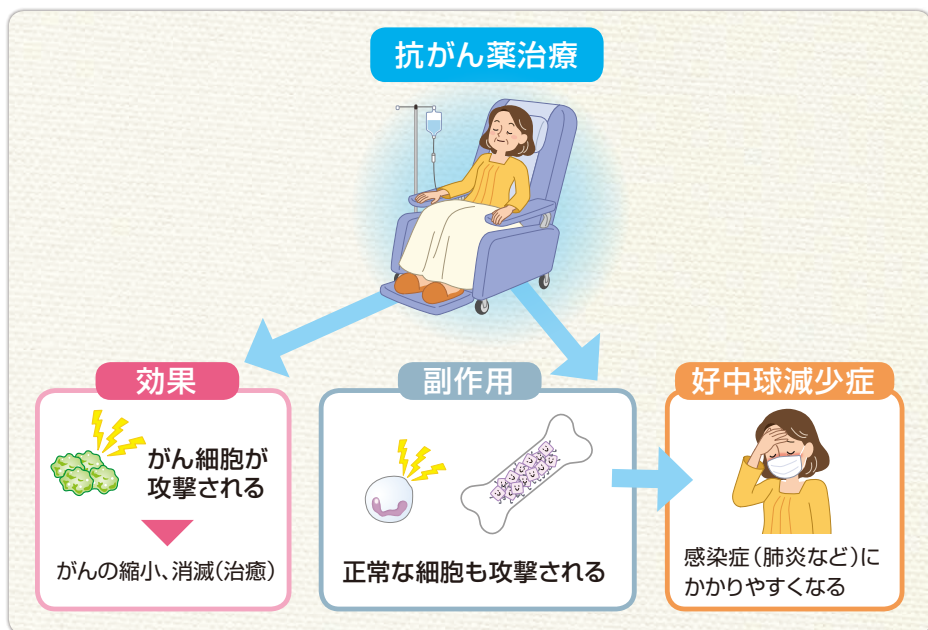
私たちの体には、特に抗がん薬の影響を受けやすい細胞があり、「骨髄中の造血細胞」はそのひとつです。骨髄は、好中球を含む血球成分を作り出す造血機能を持ちますが、抗がん薬によってその働きが止められてしまうため、抗がん薬治療中には体内の好中球が減ってしまう場合があります。

抗がん薬の影響を受けやすい細胞

骨髄中の造血細胞〔白血球（好中球）・赤血球・血小板〕、消化管（口、口腔、食道、胃および腸）の粘膜、生殖器（卵巣や睾丸）、毛根（髪の毛）など

出典：外来がん化学療法Q&A（じほう）

注：好中球は放射線治療を受けた場合にも減少することがあります。



5.好中球の減少はいつごろ起こるの？

抗がん薬の投与から7～14日目に もっとも好中球が少なくなります*

好中球は、一般的に抗がん薬を投与してから少なくなり、その後徐々に増えて回復します*。

好中球が少なくなるほど、また好中球の少ない期間が長くなるほど、感染症にかかりやすくなります。抗がん薬治療中は血液検査を受けて、好中球の数を調べ、感染対策をとることが大切です。

* 出典：がん診療レジデントマニュアル 第7版（医学書院）

コラム

抗がん薬治療と好中球減少症

●抗がん薬治療を行うと、必ず好中球が減るの？

すべての抗がん薬で好中球が減少するわけではありません。最近では特定のがん細胞にだけ働き、好中球に影響が少ない抗がん薬もあります。

●好中球が減りにくい治療を選ぶことはできるの？

抗がん薬によるがん化学療法には、それぞれのがんに対して「標準治療」が確立されています。

「標準治療」とは、大勢の患者さんの協力を得て大規模な臨床試験を行い、他の治療法よりも明らかに効果があると判断された治療法のことをいいます。積極的な治療を望む患者さんには、原則としてまず標準治療を行うことが推奨されています。

ただし、現在は複数の治療の選択肢がある場合も少なくないので、担当の医師あるいは医療スタッフ（看護師、薬剤師）と相談して適切な治療を決めることが大切です。

6. 発熱性好中球減少症ってなあに？

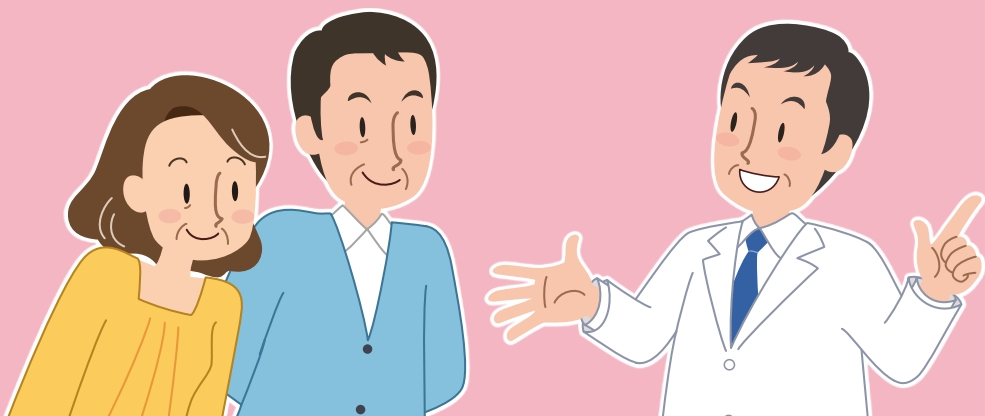
好中球減少時の発熱性疾患を、 「発熱性好中球減少症 (Febrile Neutropenia: FN)」と呼びます

発熱性好中球減少症は、37.5℃以上の体温であることと、好中球が血液1μLあたり500個未満、あるいは1,000個未満で48時間以内に500個未満に下がると予想される場合をさします。このような状態になると、重篤な感染症を引き起こす可能性もあるため、事前に防ぐことが大切です。

参考資料: G-CSF適正使用ガイドライン2013年版 Ver.5 (金原出版)

感染症 について知ろう

抗がん薬治療で好中球が減少する時期には、特に感染症にかからないような注意と工夫が必要です。また、外来で抗がん薬治療を受けておられる患者さんでは、十分なセルフケアが必要です。感染症の症状や感染予防の方法についてよく理解し、毎日の生活の中で感染予防のためのセルフケアを実践しましょう。



1. 感染症になるとどんな症状が出るの？

頭痛や発熱、腹痛、下痢、吐き気などの症状があらわれる可能性があります

感染のサインを見つけたら、夜間・休日であってもすぐに医療機関に連絡しましょう

感染症にかかったときには、発熱、悪寒（さむけ）、頭痛などさまざまな症状があらわれます。これらの症状に気がいたら、夜間・休日であってもすぐに医療機関に連絡しましょう。好中球が減少して抵抗力が落ちていると、症状がひどくなりやすく、敗血症や肺炎など、命にかかわる危険があります。敗血症は、感染によって全身に炎症反応が広がった重症感染症で、発熱、心拍数や呼吸数の増加、意識障害などの症状がみられます。こうした危険を避けるため、抗がん薬治療中は下記のような症状に注意しましょう。

感染症が疑われる症状



発熱



悪寒(さむけ)



頭痛



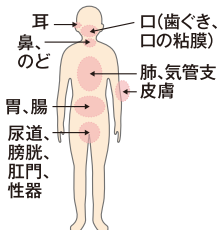
咳・痰、鼻水、
のどの痛み



腹痛、下痢、
吐き気



吹出物、
皮膚のはれ



口内炎、歯ぐきの痛み、吹出物や皮膚のはれ、
排尿時の痛み、頻尿・残尿感、肛門の痛み、痔の悪化、
おりものの増加、性器からの出血、陰部のかゆみなど

感染症の症状はこれらのものだけとはかぎりません。
体の不調・異常を感じたら、夜間・休日であっても
すぐに医療機関に連絡してください。

注意：このような症状が出るのは好中球が病原体と戦っているサインでもあります。しかし好中球が減って病原体と戦えなくなると、このような感染症の症状があらわれない場合があるので、体調の変化にはくれぐれも十分な注意が必要です。

2.感染症を予防するにはどうすればいいの？

治療開始前～治療中～治療終了後に渡って、感染症を予防するための対策を正しく理解して実践しましょう。特に、手洗いや口腔ケアの継続は重要なポイントです。

① 栄養と休息 ～心の健康を守る～

好中球が減少して、病原体への抵抗力が落ちているときには、体力が落ちないように気をつける必要があります。**十分な休息と睡眠、栄養補給を心がける**ことが大切です。心の健康にも気をつけましょう。

② 口腔ケアと手洗い ～病原体を避ける～

手洗い・うがいを徹底し、歯みがきなどの口腔ケアをしっかりとおこなうことが感染症から身を守るために大切です。

しかし、抗がん薬治療中だからといって外出を控える必要はありません。人ごみや風邪などをひいている人との接触はなるべく避ける工夫をしましょう。

抵抗力が落ちているときには、ふだん意識していないちょっとした行動が感染症の原因となることがあります。日頃生活しているときよりも、清潔を保つように気をつけ、また、思わぬケガや傷にも気をつけましょう。



③ 体温測定 ～毎日の体調を知る～

感染症を早期に発見するためには、体調のセルフチェックも重要です。**体温を毎日ばかり**、発熱がないか定期的に確認しましょう。



好中球が極端に減ったときは、19～20ページもご覧ください。

では、一つ一つ具体的に見ていきましょう。

①栄養と休息 ～心の健康を守る～

●睡眠:十分な睡眠とこまめな休息で体力を保ちましょう

●食事:食欲がないときは、何回かに分けて食べましょう

バランス良く、十分な栄養がとれる食事が重要です。抗がん薬治療中は食欲が落ちる場合もありますが、何回かに分けて食べたり、食べやすいものだけ食べるなどして体力を維持しましょう。果物、野菜、乳製品、良質なたんぱく質(魚、肉、豆類)がお勧めです。



●運動:適度に体を動かしましょう

ストレッチや散歩などの軽い運動は気分転換になるだけでなく、体力を保つためにも役立ちます。また、便秘、食欲不振、寝付きの悪さの解消などにも有効な場合があります。



●会話:いろいろな人と話をしましょう

がんの治療を受けていると、不安やあせりを感じてしまう方も多いかもしれません。そんなとき、家族や友人、他の患者さん、担当の医師あるいは医療スタッフ(看護師、薬剤師)に、今思っていることを話してみてください。気分がずいぶん楽になります。

● 趣味:好きなことで楽しい時間をつくりましょう

治療中でも趣味を続けることができます。気分の良いときには外出したり、あなたらしい生活を過ごす方法を見つけてください。



② 口腔ケアと手洗い ～病原体を避ける～

● 手洗い:感染予防の基本

感染予防のために、こまめに手を洗う習慣を身につけましょう。特に、食事の前、薬を飲む前、トイレの前後、外出の後、掃除の後、植物やペットに触れた後はていねいに洗います。30秒以上かけて洗い、清潔なタオルかペーパータオルで手を拭きます。湿ったタオルは菌が繁殖しやすいので注意しましょう。

タオルは家族と共有せず、自分専用のものを用意しましょう。

● 手洗いの方法



手のひらを合わせてよくこする。



手の甲も伸ばすようにしてよくこする。



指先、爪の間も入念に。



指の間もよく洗う。



親指をねじるようにして洗う。



手首も忘れずに。

● 口腔ケア：日頃からの口のケアが感染予防のポイント

抗がん薬は口の粘膜に作用して、口内炎や口の中の乾燥を引き起こします。口の中が乾燥していると、さらにトラブルが起こりやすくなります。

口の中に問題があることで、抗がん薬治療のスケジュールを変更せざるを得なくなる場合もあります。

また、成人、特に40代以降では8割に歯周病がある*とされていますので、抗がん薬治療の前に、歯科受診して虫歯や歯周病の治療を終わらせ、治療中、治療終了後も継続したケアが大切です。効果的な口腔ケアについて習っておくと良いでしょう。

口の中を清潔に保つことは、爽快感を得るだけでなく、治療中の肺炎などの合併症を予防することにもつながるため、非常に重要です。

* 出典：歯周治療の指針2015, 日本歯周病学会編

● 原則1日4回、必ず歯をみがきましょう

歯みがきは原則1日4回（起床時、毎食後）、必ず行いましょう。たとえ食事をしなかった場合でも、歯みがきは忘れずに行いましょう。

口の中を清潔に保つことが重要です。

可能な場合は、起床時、毎食後、就寝前の1日5回、歯をみがくことが理想的です。



● こまめにうがいを行い、口の中の乾燥を防ぎましょう

がん治療中は特に、こまめなうがいを行い、口の中の乾燥を防ぐことが重要です。

口腔粘膜はがん治療により影響を受けやすいため、口の中の乾燥や口内炎が起こります。口の中が乾燥することにより、会話がしにくい、食べ物が飲み込みにくいなど、不快な症状がみられ、口内炎なども起こしやすくなります。

口の中がしみる場合は、水1Lあたり9gの食塩を溶かした食塩水を使い、うがいを行いましょう。



● 定期的に歯科受診しましょう

がん治療の開始前に虫歯や歯周病の治療を終えておくだけでなく、治療の開始後も歯科を受診し、口の中の問題に注意することが大切です。定期的にチェックを受けることで、治療中の状態に合わせた効果的な口腔ケアを行いましょう。

口内炎で痛みがある際にも、歯みがきによって口の中を清潔に保つことがとても大切です。担当の医師あるいは医療スタッフ（看護師、薬剤師）に相談しましょう。



● 風呂やシャワー、トイレで体を清潔に保ちましょう

なるべく毎日入浴して、体を清潔に保ちましょう。入浴時は湯温をぬるめにして、体力の消耗を防ぎましょう。全身浴が難しい場合は、腰湯、半身浴またはシャワーで、入浴が難しい場合は、蒸しタオルで、清潔を保ちましょう。また、温水洗浄便座がある場合は、利用しましょう。

● 風邪やインフルエンザなどにかかった人に近づかないようにしましょう

伝染性の病気にかかっている人には、家族でも近づかないようにしましょう。予防注射については担当の医師あるいは医療スタッフ(看護師、薬剤師)に相談してください。

● 性生活上の清潔も忘れずに、 抗がん薬治療中の妊娠には注意しましょう

傷をつけたりしないように注意すれば、性行為の制限はありませんが、手指や陰部の清潔には注意してください。パートナーが風邪をひいているようなときや、好中球が極端に減っている際には控えましょう。また、抗がん薬治療中は妊婦の感染のリスクを伴うので、コンドームを使用して避妊してください。詳細は担当の医師あるいは医療スタッフ(看護師、薬剤師)に相談してください。

●人ごみを避け、マスクをなるべく着用しましょう

抗がん薬治療中だからといって外出を控える必要はありません。ただし、大勢の人が集まるような場所では感染の可能性も高くなるので、やむを得ず人ごみに行く場合は、必ずマスクをしましょう。

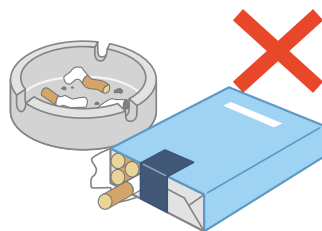


●ペットのフンに注意しましょう

通常、ペットの飼育や接触は問題ありませんが、動物に触れた後は手洗いを忘れないでください。口移しで食べ物を食べさせたり、口をなめさせたりしないように注意しましょう。フンの始末も他の人にお願ひし、自分でしなくてはならない場合は、手袋をつけ、その後はしっかり手洗いをしてください。

●タバコは止めましょう

タバコに含まれるタールやニコチンはのどや気管を刺激し、分泌物(痰)を増やします。これが排泄されずに気管支や肺におりると感染の原因となることがあります。

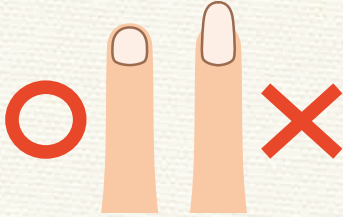


●新鮮な水分を飲みましょう

井戸水やくみ置きの水は避け、ペットボトル飲料の場合は開栓後、冷蔵庫に保存し、24時間以内に飲みきりましょう。

●皮膚や粘膜を傷つけないよう注意しましょう

抵抗力が落ちていると、なんということのない小さな傷から菌が入り、病気の原因となる場合があります。抗がん薬治療中は、ふだんよりもケガや傷に気をつけて生活しましょう。



爪は短く整えましょう。ただし深爪は避け、甘皮は切らずに残しましょう。



料理のときには刃物やおろし金に注意。はねる油でのやけどにも気をつけましょう。



ひげ剃りは電気カミソリを使いましょう。



乾燥肌やひび割れは、早めにクリーム等で保護しましょう。



庭いじりや工具を使うときは厚手の手袋を。



鼻、耳は素手でこすらず、汚れは綿棒ややわらかいガーゼ等でやさしく拭きましょう。



ニキビ・吹出物はつぶさずそのままに。



日焼けや虫刺されに気をつけましょう。

③ 体温測定 ～毎日の体調を知る～

体温を1日1回毎日ばかり、発熱がないか定期的に確認しましょう。悪寒(さむけ)を感じたときにもすぐに体温をはかりましょう。

10ページに示したような感染症の症状があらわれた場合はこまめに体温をはかり、発熱があった場合は、夜間・休日であってもすぐに医療機関に連絡してください。



3.好中球が極端に減っていると診断を受け

好中球が血液1 μ Lあたり500個未満、または1,000個未満で、数日中にかかわる感染症にかかる可能性が高くなるため、さらなる注意が必要になり

● 新鮮なものを食べましょう

生鮮食品はもちろんのこと、加工食品でもなるべく新鮮な食品を選んで食べましょう。

● 調理後、時間の経った食べ物は避けましょう

食品は、調理後できるだけ早めに食べましょう。調理後に時間が経過したものは注意しましょう。

● 野菜や果物はよく水洗いしましょう

皮をむく野菜や果物でも、水でよく洗ってから食べましょう。火を通す野菜でも、調理の前によく洗いましょう。

● 冷蔵庫の過信は禁物です

冷蔵庫は「低温に保つための箱」であり、病原体の繁殖を完全に抑えるわけではありません。過信しないようにしましょう。

● 調理器具や食器は清潔にしましょう

包丁やまな板などの調理器具は、使用前後によく洗いましょう。食器は使用前にも洗い、よく乾いた清潔なふきんで拭いてください。また、食器洗い用スポンジは使用後は十分に洗剤を洗い流し、固く絞ってから乾かしてください。

た場合には、どうすればいいの？

500個未満になると予想される時には、感染症にかかりやすく、生命に
ます。

● 食事については担当の医師あるいは医療スタッフ (看護師、薬剤師)に相談しましょう

刺身などの生ものや、チーズ、納豆などの発酵食品を食べて良いかどうかは、担当の医師あるいは医療スタッフ(看護師、薬剤師)に相談してください。

● 他の人と接触するときにはマスクを着用しましょう

マスクには、外から飛んでくる病原体を防ぐだけでなく、自分の口の乾燥を防ぐ効果もあります。他の人と話すときなどはマスクを着用しましょう。

● 予防注射を受けた直後の人にも近づかないようにしましょう

生ワクチンの予防注射(ポリオ、麻疹、水痘など)を受けた直後の人には近づかないようにしましょう。感染の危険があります。

● 動植物には近づかないようにしましょう

植物には病原体が付いている可能性があるため、室内に鉢植えを置いたり、生花やドライフラワーなどには近づかないようにしましょう。また、好中球が極端に減っている間は、なるべくペットからは離れましょう。

4. 感染症になったらどうすればいいの？

感染症かな？と思ったら、夜間・休日であっても
すぐに医療機関に連絡し、適切な治療を受けましょう

感染症であった場合は、抗菌薬などで治療を行います。また、好中球を増やすお薬で、少なくなった好中球を増やす治療を行う場合もあります。

コラム

発熱したら「抗菌薬」？ 「解熱鎮痛剤」？



発熱を引き起こす原因はさまざまですが、がん化学療法の際には、感染症による発熱に注意が必要です。

感染症を引き起こす主な病原体には、細菌、ウイルス(インフルエンザウイルスやノロウイルス等)、真菌(白癬(水虫)菌やカンジダ等)があります。

発熱した場合には、抗菌薬や解熱鎮痛剤が処方されますが、発熱の原因によって使い分けられています。

抗菌薬は、細菌を破壊して増えることを抑える作用を持つお薬で、細菌による感染症の治療に使用します。そのため、細菌以外のウイルスや真菌が原因の感染症には効果は期待できません。

解熱鎮痛剤は、主に鎮痛(痛みを和らげる)作用、解熱(熱を下げる)作用、消炎(炎症を抑える)作用を持つお薬で、主に痛みを感じる時や発熱の時に使用します。

Q 抗がん薬の治療期間中に発熱した場合には「抗菌薬」を飲むように言われています。どうしてですか？

A 抗がん薬の副作用によって好中球が減少している状態での発熱は、細菌による感染症が原因である可能性が高いことがわかっています¹⁾。そのため、細菌による感染症に対する治療として抗菌薬を使用します。

1) Support Care Cancer. 2006; 14: 763-9

Q「抗菌薬」は熱が下がったら飲まなくても良いですか？

A 症状がなくなっても、医師の指示通りに決められた日数分を決められた時間にきちんと飲み切ってください。細菌は熱が下がって症状がなくなっても一定期間体の中に残っているため、細菌がなくなるまでお薬を飲み続ける必要があります。自己判断でお薬を飲むのをやめると感染症がぶり返すことがあります。

Q「解熱鎮痛剤」は発熱に効果はありませんか？

A 解熱鎮痛剤は、一般的に痛みを和らげたり、熱を下げる効果があります。しかし、抗がん薬の治療期間中の発熱は、細菌による感染症が原因であることが多いため、抗菌薬で細菌を抑える方が熱を下げるのに効果的で、解熱鎮痛剤では効果を期待できない場合があります。

Q「抗菌薬」を飲むときの注意点はありますか？

A 抗菌薬のなかには、食後が良いもの、空腹時が良いものや、ジュースやヨーグルトと混ぜないほうが良いものなど、飲むタイミングや飲み方に注意しないといけないお薬があります。担当の医師あるいは医療スタッフ(看護師、薬剤師)の説明をよく聞きましょう。

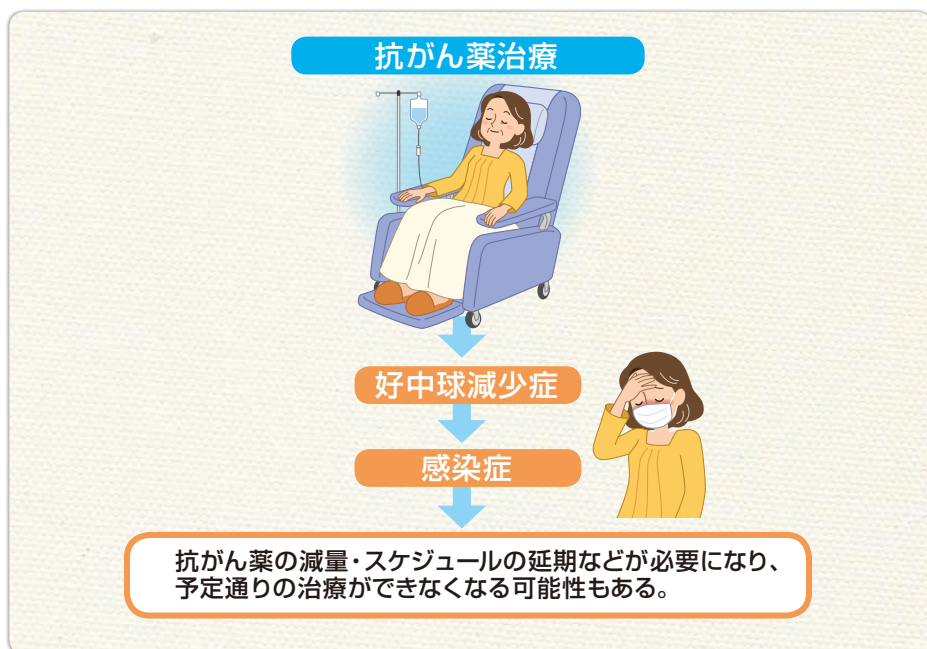
5. 感染症になるとがん治療はどうなるの？

感染症にかかると治療が必要となるだけでなく、**抗がん薬の減量や治療スケジュールの延期などが**必要になり、**予定通りの治療ができなくなる可能性**もあります

感染症にかかると感染症に対する治療が必要となり、症状によっては入院が必要となります。また、感染症が治るまで抗がん薬による治療もできなくなります。

抗がん薬は、投与量や治療スケジュールが病状にあわせて最適になるよう決められているため、期待通りの治療効果を得るには、投与量とスケジュールを守ることが重要とされています。

がん治療を計画通りに行うためにも、抗がん薬治療中には感染症にかからないよう心がけましょう。





A series of horizontal dotted lines for writing notes.

わたしの治療日誌 ●●●● **がん化学療法名(抗がん剤名)**

日付	7/2(月)	7/3(火)	7/4(水)
通院日(治療日)	○		
外出などの用事	病院	買い物	
体温	36.8℃	36.5℃	36.7℃
頭痛	なし・あり	なし・あり	なし・あり
抗菌薬の服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
排便回数	1回	1回	1回
便の硬さ	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢
吐き気(吐いた回数)	なし・あり(1回)	なし・あり(回)	なし・あり(回)
吐き気止めの服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
口内炎	なし・あり	なし・あり	なし・あり
体のだるさ	なし・あり()	なし・あり()	なし・あり()
しびれ(手足)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)
痛み	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)
不眠	なし・あり	なし・あり	なし・あり
気分の落ち込み	なし・あり	なし・あり	なし・あり
その他			
内服薬 (吐き気止め、抗菌薬以外に使用したお薬)	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜
わたしのつぶやきmemo		夫と近所まで散歩した	だるくて家事ができなかった
体重	○○ kg	先生に聞きたいこと	
検査日	○/○(○)	抗がん剤治療後から、思ったよりもだるい抗菌薬を飲むタイミングは?	
白血球(WBC)	3,500	医師、薬剤師、看護師からのアドバイス	
好中球(Seg)	2,000		
ヘモグロビン(Hb)	10.8		
血小板(PLT)	120,000		

治療 1 回(コース)目

7/5(木)	7/6(金)	7/7(土)	7/8(日)
子供の行事参観	コンサート		
37.0℃	37.3℃	38.3℃	38.0℃
なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり
なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり
1回	1回	1回	1回
硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢
なし・あり(回)	なし・あり(回)	なし・あり(回)	なし・あり(回)
なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり
なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり
なし・あり()	なし・あり()	なし・あり()	なし・あり()
なし・あり(部位)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)
なし・あり(部位)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)
なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり
なし・あり	なし・あり	なし・あり	なし・あり
朝	朝	朝	朝
昼	昼	昼	昼
夜	夜	夜	夜
子供の成長を感じてうれしかった	コンサートにいてとても感動した		

のですが、いつまで続くのでしょうか？

わたしの治療日誌

がん化学療法名(抗がん剤名)

日付	/ ()	/ ()	/ ()
通院日(治療日)			
外出などの用事			
体温	℃	℃	℃
頭痛	なし・あり	なし・あり	なし・あり
抗菌薬の服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
排便回数	回	回	回
便の硬さ	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢
吐き気(吐いた回数)	なし・あり(回)	なし・あり(回)	なし・あり(回)
吐き気止めの服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
口内炎	なし・あり	なし・あり	なし・あり
体のだるさ	なし・あり()	なし・あり()	なし・あり()
しびれ(手足)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)
痛み	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)
不眠	なし・あり	なし・あり	なし・あり
気分の落ち込み	なし・あり	なし・あり	なし・あり
その他			
内服薬 (吐き気止め、抗菌薬以外に使用したお薬)	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜
わたしのつぶやきmemo			
体重	kg	先生に聞きたいこと	
検査日	/ ()	医師、薬剤師、看護師からのアドバイス	
白血球(WBC)			
好中球(Seg)			
ヘモグロビン(Hb)			
血小板(PLT)			

治療 _____ 回(コース)目

/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
℃	℃	℃	℃
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
回	回	回	回
硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢
なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
朝	朝	朝	朝
昼	昼	昼	昼
夜	夜	夜	夜

わたしの治療日誌

がん化学療法名(抗がん剤名)

日付	/ ()	/ ()	/ ()
通院日(治療日)			
外出などの用事			
体温	℃	℃	℃
頭痛	なし・あり	なし・あり	なし・あり
抗菌薬の服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
排便回数	回	回	回
便の硬さ	硬い・ふつう・ 軟便・下痢	硬い・ふつう・ 軟便・下痢	硬い・ふつう・ 軟便・下痢
吐き気(吐いた回数)	なし・あり(回)	なし・あり(回)	なし・あり(回)
吐き気止めの服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
口内炎	なし・あり	なし・あり	なし・あり
体のだるさ	なし・あり ()	なし・あり ()	なし・あり ()
しびれ(手足)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
痛み	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
不眠	なし・あり	なし・あり	なし・あり
気分の落ち込み	なし・あり	なし・あり	なし・あり
その他			
内服薬 (吐き気止め、抗菌薬以外に 使用したお薬)	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜
わたしの つぶやきmemo			
体重	kg	先生に聞きたいこと	
検査日	/ ()	医師、薬剤師、看護師からのアドバイス	
白血球(WBC)			
好中球(Seg)			
ヘモグロビン(Hb)			
血小板(PLT)			

治療 _____ 回(コース)目

/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
℃	℃	℃	℃
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
回	回	回	回
硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢
なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
朝	朝	朝	朝
昼	昼	昼	昼
夜	夜	夜	夜

わたしの治療日誌

がん化学療法名(抗がん剤名)

日付	/ ()	/ ()	/ ()
通院日(治療日)			
外出などの用事			
体温	℃	℃	℃
頭痛	なし・あり	なし・あり	なし・あり
抗菌薬の服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
排便回数	回	回	回
便の硬さ	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢
吐き気(吐いた回数)	なし・あり(回)	なし・あり(回)	なし・あり(回)
吐き気止めの服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
口内炎	なし・あり	なし・あり	なし・あり
体のだるさ	なし・あり()	なし・あり()	なし・あり()
しびれ(手足)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)
痛み	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)	なし・あり(部位)
不眠	なし・あり	なし・あり	なし・あり
気分の落ち込み	なし・あり	なし・あり	なし・あり
その他			
内服薬 (吐き気止め、抗菌薬以外に使用したお薬)	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜
わたしのつぶやきmemo			
体重	kg	先生に聞きたいこと	
検査日	/ ()	医師、薬剤師、看護師からのアドバイス	
白血球(WBC)			
好中球(Seg)			
ヘモグロビン(Hb)			
血小板(PLT)			

治療 _____ 回(コース)目

/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
℃	℃	℃	℃
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
回	回	回	回
硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢
なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
朝	朝	朝	朝
昼	昼	昼	昼
夜	夜	夜	夜

わたしの治療日誌

がん化学療法名(抗がん剤名)

日付	/ ()	/ ()	/ ()
通院日(治療日)			
外出などの用事			
体温	℃	℃	℃
頭痛	なし・あり	なし・あり	なし・あり
抗菌薬の服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
排便回数	回	回	回
便の硬さ	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢
吐き気(吐いた回数)	なし・あり(回)	なし・あり(回)	なし・あり(回)
吐き気止めの服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
口内炎	なし・あり	なし・あり	なし・あり
体のだるさ	なし・あり ()	なし・あり ()	なし・あり ()
しびれ(手足)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
痛み	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
不眠	なし・あり	なし・あり	なし・あり
気分の落ち込み	なし・あり	なし・あり	なし・あり
その他			
内服薬 (吐き気止め、抗菌薬以外に使用したお薬)	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜
わたしのつぶやきmemo			
体重	kg	先生に聞きたいこと	
検査日	/ ()	医師、薬剤師、看護師からのアドバイス	
白血球(WBC)			
好中球(Seg)			
ヘモグロビン(Hb)			
血小板(PLT)			

治療 _____ 回(コース)目

/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
℃	℃	℃	℃
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
回	回	回	回
硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢
なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
朝	朝	朝	朝
昼	昼	昼	昼
夜	夜	夜	夜

わたしの治療日誌

がん化学療法名(抗がん剤名)

日付	/ ()	/ ()	/ ()
通院日(治療日)			
外出などの用事			
体温	℃	℃	℃
頭痛	なし・あり	なし・あり	なし・あり
抗菌薬の服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
排便回数	回	回	回
便の硬さ	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢
吐き気(吐いた回数)	なし・あり(回)	なし・あり(回)	なし・あり(回)
吐き気止めの服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
口内炎	なし・あり	なし・あり	なし・あり
体のだるさ	なし・あり ()	なし・あり ()	なし・あり ()
しびれ(手足)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
痛み	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
不眠	なし・あり	なし・あり	なし・あり
気分の落ち込み	なし・あり	なし・あり	なし・あり
その他			
内服薬 (吐き気止め、抗菌薬以外に使用したお薬)	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜
わたしのつぶやきmemo			
体重	kg	先生に聞きたいこと	
検査日	/ ()	医師、薬剤師、看護師からのアドバイス	
白血球(WBC)			
好中球(Seg)			
ヘモグロビン(Hb)			
血小板(PLT)			

治療 _____ 回(コース)目

/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
℃	℃	℃	℃
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
回	回	回	回
硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢
なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
朝	朝	朝	朝
昼	昼	昼	昼
夜	夜	夜	夜

わたしの治療日誌

がん化学療法名(抗がん剤名)

日付	/ ()	/ ()	/ ()
通院日(治療日)			
外出などの用事			
体温	℃	℃	℃
頭痛	なし・あり	なし・あり	なし・あり
抗菌薬の服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
排便回数	回	回	回
便の硬さ	硬い・ふつう・ 軟便・下痢	硬い・ふつう・ 軟便・下痢	硬い・ふつう・ 軟便・下痢
吐き気(吐いた回数)	なし・あり(回)	なし・あり(回)	なし・あり(回)
吐き気止めの服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
口内炎	なし・あり	なし・あり	なし・あり
体のだるさ	なし・あり ()	なし・あり ()	なし・あり ()
しびれ(手足)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
痛み	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
不眠	なし・あり	なし・あり	なし・あり
気分の落ち込み	なし・あり	なし・あり	なし・あり
その他			
内服薬 (吐き気止め、抗菌薬以外に 使用したお薬)	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜
わたしの つぶやきmemo			
体重	kg	先生に聞きたいこと	
検査日	/ ()	医師、薬剤師、看護師からのアドバイス	
白血球(WBC)			
好中球(Seg)			
ヘモグロビン(Hb)			
血小板(PLT)			

治療 _____ 回(コース)目

/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
℃	℃	℃	℃
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
回	回	回	回
硬い ・ ふつう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふつう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふつう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふつう ・ 軟便 ・ 下痢
なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
朝	朝	朝	朝
昼	昼	昼	昼
夜	夜	夜	夜

わたしの治療日誌

がん化学療法名(抗がん剤名)

日付	/ ()	/ ()	/ ()
通院日(治療日)			
外出などの用事			
体温	℃	℃	℃
頭痛	なし・あり	なし・あり	なし・あり
抗菌薬の服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
排便回数	回	回	回
便の硬さ	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢
吐き気(吐いた回数)	なし・あり(回)	なし・あり(回)	なし・あり(回)
吐き気止めの服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
口内炎	なし・あり	なし・あり	なし・あり
体のだるさ	なし・あり ()	なし・あり ()	なし・あり ()
しびれ(手足)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
痛み	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
不眠	なし・あり	なし・あり	なし・あり
気分の落ち込み	なし・あり	なし・あり	なし・あり
その他			
内服薬 (吐き気止め、抗菌薬以外に使用したお薬)	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜
わたしのつぶやきmemo			
体重	kg	先生に聞きたいこと	
検査日	/ ()	医師、薬剤師、看護師からのアドバイス	
白血球(WBC)			
好中球(Seg)			
ヘモグロビン(Hb)			
血小板(PLT)			

治療 _____ 回(コース)目

/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
℃	℃	℃	℃
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
回	回	回	回
硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢
なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
朝	朝	朝	朝
昼	昼	昼	昼
夜	夜	夜	夜

わたしの治療日誌

がん化学療法名(抗がん剤名)

日付	/ ()	/ ()	/ ()
通院日(治療日)			
外出などの用事			
体温	℃	℃	℃
頭痛	なし・あり	なし・あり	なし・あり
抗菌薬の服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
排便回数	回	回	回
便の硬さ	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢	硬い・ふつう・軟便・下痢
吐き気(吐いた回数)	なし・あり(回)	なし・あり(回)	なし・あり(回)
吐き気止めの服用	なし・あり	なし・あり	なし・あり
口内炎	なし・あり	なし・あり	なし・あり
体のだるさ	なし・あり ()	なし・あり ()	なし・あり ()
しびれ(手足)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
痛み	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)	なし・あり (部位)
不眠	なし・あり	なし・あり	なし・あり
気分の落ち込み	なし・あり	なし・あり	なし・あり
その他			
内服薬 (吐き気止め、抗菌薬以外に使用したお薬)	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜
わたしのつぶやきmemo			
体重	kg	先生に聞きたいこと	
検査日	/ ()	医師、薬剤師、看護師からのアドバイス	
白血球(WBC)			
好中球(Seg)			
ヘモグロビン(Hb)			
血小板(PLT)			

治療 _____ 回(コース)目

/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
℃	℃	℃	℃
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
回	回	回	回
硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢	硬い ・ ふう ・ 軟便 ・ 下痢
なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)	なし ・ あり (回)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()	なし ・ あり ()
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)	なし ・ あり (部位)
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり	なし ・ あり
朝	朝	朝	朝
昼	昼	昼	昼
夜	夜	夜	夜

治療中、以下の症状があったら、 夜間・休日であっても すぐに医療機関に連絡してください

感染症が疑われる症状



悪寒(さむけ)

咳・痰、鼻水、
のどの痛み



吹出物、
皮膚のはれ



頭痛



腹痛、下痢、
吐き気

38℃前後の発熱



吐き気や嘔吐、下痢などで 水分がほとんどとれない



詳しくは10ページを参照